

令和6年度 思春期保健事業

目的

生命の尊さや性について学び、自分の存在や自分の将来を考える機会とする。

内容

産婦人科医師による講演会



病院助産師講話



保健師・助産師講話



○医師講演会

思春期に大切な知識(心と体の発達、妊娠・出産、避妊、性感染症、LGBTQ関連、スマホ・ネットトラブル等)や実例紹介の講演。

○病院助産師講話

思春期の心と体の変化、妊娠・出産・避妊や性感染症、性的同意、ライフプラン、デートDV、LGBT+Qについて学ぶ。坂総合病院 堀籠助産師の講話。

○保健師・助産師講話

1)「命のはじまり」助産師：新しい命を授かってから赤ちゃんが誕生するまでについて学ぶ。スライドや受精卵モデルを用いて説明。

2)「子育ての実際」保健師：親の子に対する愛情や育児の様子を知り、自分と照らし合わせて考える。

妊婦とその夫や子育て中の母親のインタビュー動画、子育ての実際の場面(赤ちゃんへの声かけ・着替え)についての動画を用いて説明。

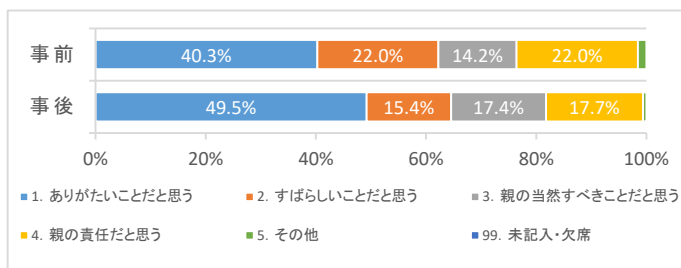
○相談先一覧配布

○実施メニューについて市内全5中学校から希望を取り、医師講演会は4校、助産師講話は1校、保健師・助産師講話は3校に実施した。

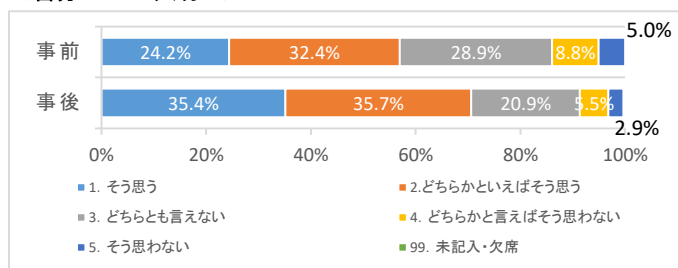
【参加者】 一中・二中・三中・玉中・浦中の 354名 【スタッフ】 延 20名

事業前後の変化

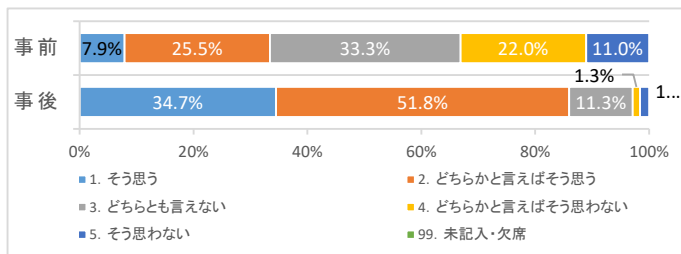
<親が子を育てることについて>



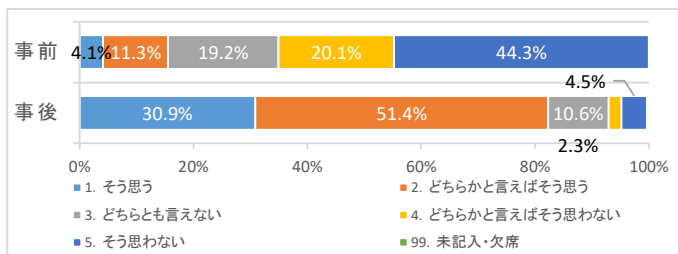
<自分のことが大切か>



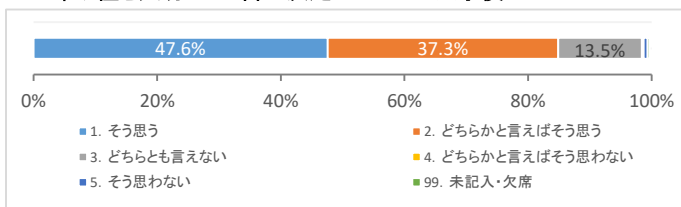
<妊娠・出産・子育ての知識について>



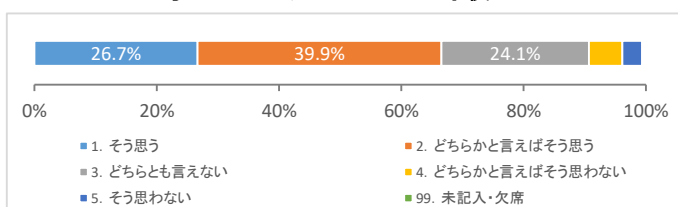
<性感染症の知識について>



<命や性を大切にしたい自己決定について>※事後のみ



<ライフプランを考えるきっかけとなったか>※事後のみ



生徒アンケート 自由記載欄より

性のことや、命のことを今のうちに知れてよかったと思う。命の大切さや、育児のありがたさを改めて知ったから、生まれたことに感謝することを忘れないようにしようと思った。

これからの人生についてよく考えられるいい機会になりました。たくさんの道があってどう進むのかは自分のペースで決めていいんだと心に余裕ができる時間だったと思いました。

将来何をしたいかや、そのためにどうするかを考える良い機会になった。

作成：塩竈市子ども未来課 親子保健係
(こども家庭センター にこサポ)